

# ワイヤーアンテナの収納のアイデア

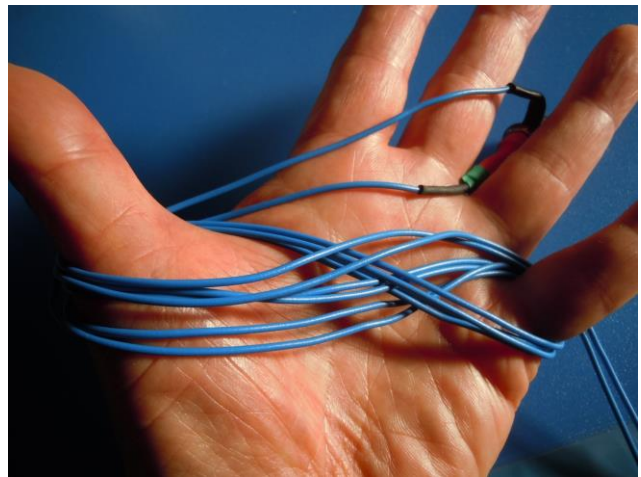
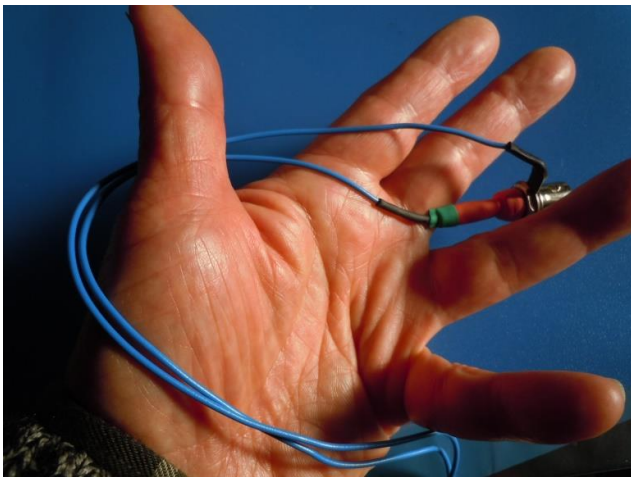


アンテナ線は適当にまとめておくと、伸展しようとした時絡まり合ってしまう、お団子を解くのに難渋します。

通常は型枠などに巻き付けて絡まるのを防ぐのですが、嵩張ってしまいます。

QRP での運用ではアンテナ線は太いのには越したことはありませんが、コンパクトにしたい場合は細い線を使うことが多いです。その場合、型枠などがとても邪魔になります。そこで、線だけでまとめておく方法を工夫しました。

## 指を使った、8の字巻き



コネクタ部を中指と薬指で挟んで固定してから、親指と小指の間でアンテナ線を8の字に巻いていきます。一回ごとの巻き線が中央でクロスすることで線同士が絡まることを防いでくれます。巻き終わりは線の端で数回8の字の真ん中をぐるぐると巻いて留めておきます。その上をベルクロのテープで固定しておくともっとしっかりまとめることができます。



アンテナ線を伸展する時には、留めてある部分を解いてコネクタ部か、線の先端部を持って、全体を放り出せば絡まることなく伸ばすことができます。

この方法で7MHz用のEFHWやベースローディングバッチカルなどのワイヤーアンテナをまとめています。枠がないので収納する場合にも柔軟性があり、荷物の隙間に押し込むことができ便利です。

カウンターポイズもエレメントと一緒に巻いておくと伸展の作業がやり易いです。